



2022年3月15日

各 位

会 社 名 株式会社キャリアデザインセンター
代 表 者 名 代表取締役社長兼会長 多田 弘實
(コード番号：2410 東証第一部)
問 合 せ 先 常務取締役社員サポート本部長 西山 裕
(TEL：03-3560-1601)

第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月15日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2022年1月31日に公表いたしました2022年9月期第2四半期累計期間及び2021年11月10日に公表いたしました2022年9月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年9月期第2四半期累計期間 業績予想の修正

2022年9月期第2四半期累計期間 業績予想の修正（2021年10月1日～2022年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|--------------|------------|------------|------------|-----------------|
| 前回発表予想（A） （2022年1月31日発表） | 百万円 7,110 | 百万円 401 | 百万円 400 | 百万円 287 | 円 銭 47.57 |
| 今回発表予想（B） | 百万円 7,280 | 百万円 601 | 百万円 600 | 百万円 460 | 円 銭 76.24 |
| 増減額（B－A） | 170 | 200 | 200 | 173 | — |
| 増減率（％） | 2.4 | 49.9 | 50.0 | 60.3 | — |
| （ご参考）前期第2四半期実績 （2021年9月期第2四半期） | — | — | — | — | — |

（注）当社は、2021年9月期第3四半期累計期間より連結決算から非連結決算に移行したため、前期第2四半期実績は記載しておりません。

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間につきましては、2022年1月31日付で公表しました前回業績予想時に懸念をしておりました新型コロナウイルス感染症の変異株の影響は想定より少なく、第2四半期においても引き続きIT業界を中心に高い採用需要が継続するとともに、回復が鈍化していた女性マーケットにおいても緩やかに回復基調を示しております。その結果、売上高は前回業績予想より増加する見込みであり、各段階利益においても、求人案件数の増加に伴う、求人企業に対する費用対効果を強化するために約2.0億円の追加投資を行ったものの、その他のコストを抑制したことで、前回の業績予想を上回るとともに、通期の各段階利益の業績予想を超える見込みであります。

3. 2022年9月期通期 業績予想の修正

2022年9月期通期 業績予想の修正（2021年10月1日～2022年9月30日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|---------------|------------|------------|------------|----------------|
| 前回発表予想（A） （2021年11月10日発表） | 百万円 13,755 | 百万円 502 | 百万円 500 | 百万円 395 | 円 銭 58.52 |
| 今回発表予想（B） | 百万円 14,760 | 百万円 802 | 百万円 800 | 百万円 610 | 円 銭 101.10 |
| 増減額（B－A） | 1,005 | 300 | 300 | 235 | － |
| 増減率（％） | 7.3 | 59.8 | 60.0 | 54.4 | － |
| （ご参考）前期実績 （2021年9月期） | 9,436 | 140 | 155 | 927 | 137.44 |

（注）2021年9月期通期の実績については、第2四半期までのIT派遣事業の業績を、吸収合併した当社の完全子会社にて計上しており個別実績には含んでおりません。

なお、参考値として個別実績に第2四半期までのIT派遣事業の業績を加えた合計値は、売上高12,091百万円、営業利益342百万円、経常利益362百万円となります。

4. 修正の理由

上述の通り、上半期において各段階利益における通期業績予想を上回る見込みであることから、2021年11月10日付で公表しました通期業績予想を上方修正いたします。なお、第3四半期以降においても引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が不透明な状況であり、さらには昨今の世界情勢が与える影響についても慎重に注視をしております。

現時点における売上高については、求人企業の採用需要が足元の状況と同様に推移し、引き続きIT業界を中心に女性マーケットなどが回復傾向を示し、業績は回復傾向を示すと見込んでおり、売上高は前回業績予想を大幅に上回る見込みであります。

一方、売上高の増加に伴い、求人案件数も増加していることから、求人企業に対する費用対効果を強化するとともに、売上高の更なる拡大を図るため、第2四半期累計期間と同様、第3四半期以降についても売上高の増加に伴う広告宣伝費に対する追加投資について検討しております。また、前事業年度は自社採用を抑制しておりましたが、来期以降の業績拡大に向け採用を強化するため、採用費や人件費などについても投資をしております。なお、今後の世界経済・情勢を鑑みて柔軟に対応してまいりますので、状況に変化が生じた場合には速やかに開示をいたします。

当社としましては、2021年11月に発表いたしました中期経営計画の初年度となる今期の業績は順調に推移しており、引き続き来期以降も高い成長を実現するべく、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響、及びそれに伴う景気動向を注視しつつ、全社一丸となり尽力してまいりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

（注）上記の差異におきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により発表数値と異なる可能性があります。

以上